

一般送配電事業に係る2019年度供給計画について

2019年3月29日
北陸電力株式会社

本日、一般送配電事業に係る2019年度供給計画[※]を電力広域的運営推進機関（以下、広域機関）を経由して経済産業大臣に届け出ましたのでお知らせいたします。

本日、当社は電気事業法に基づき、一般送配電事業に係る2019年度供給計画を広域機関を経由して経済産業大臣に届け出ました。（別紙参照）

北陸エリアの需給バランスは、各年度ともに、安定供給の目安となる予備率8%を確保できる見通しとなっておりますが、志賀原子力発電所が停止している中、今後の気温影響や大型電源のトラブルなどの不確定要素を考慮すると、厳しい需給状況となるため、当社としては、電気設備の保守点検を確実に実施する等、引き続き電力の安定供給に努めてまいります。

今後も需給状況につきましては、でんき予報などでお知らせしてまいります。引き続き電気の効率的なご使用にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以 上

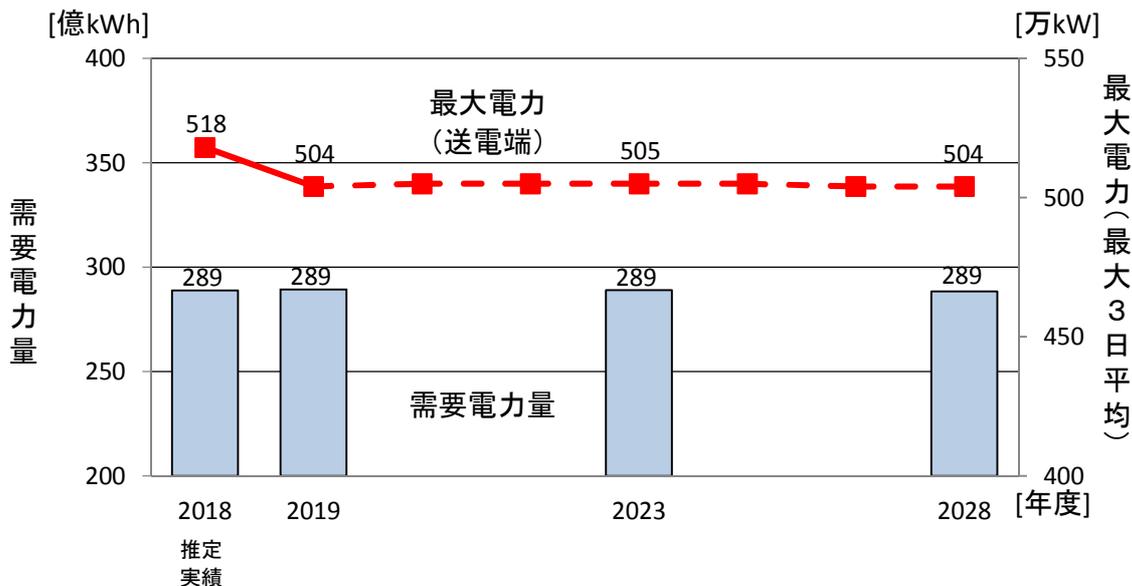
別紙：一般送配電事業に係る2019年度供給計画の概要

※供給計画：電気事業者は毎年度、今後10年間の需給見通しや発電所の開発、送配電網の整備等をまとめた計画（供給計画）を作成し、当該年度開始前に広域機関を経由して経済産業大臣に届けなければならない。広域機関は電気事業者から提出された供給計画を取りまとめ全国および各エリアの需給バランスを評価し、この結果を公表および経済産業大臣へ送付することとなっている。

一般送配電事業に係る2019年度供給計画の概要

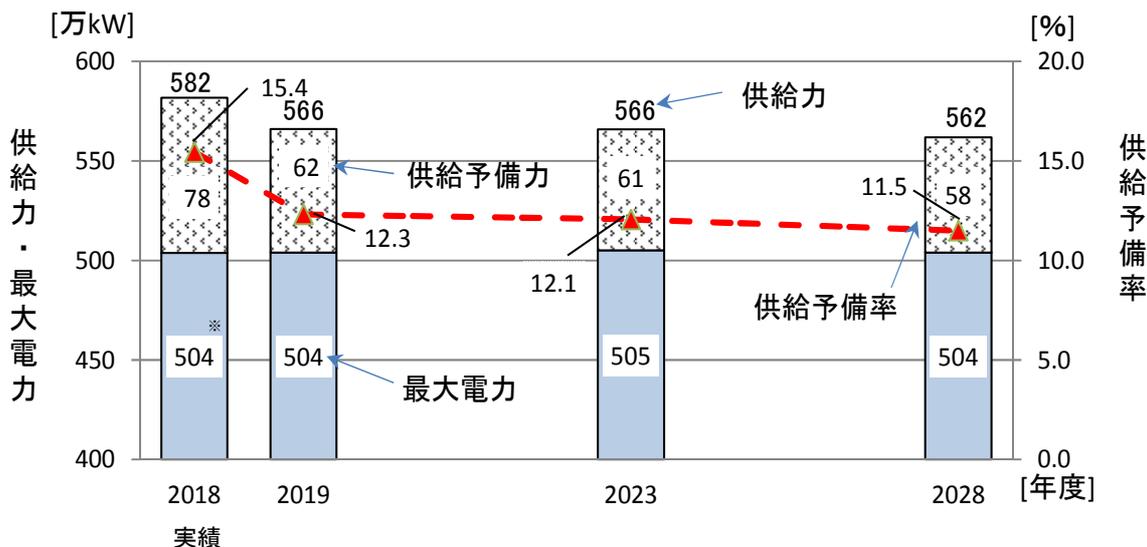
1. 需要電力量と最大電力の見通し

- 供給区域需要は、当社が1月11日に電力広域的運営推進機関へ提出し、電力広域的運営推進機関がその妥当性を確認の上、1月16日に公表した想定需要を用いております。
- 2028年度（需要電力量289億kWh、最大電力504万kW）の供給区域需要は、2018年度（気温影響補正後の需要電力量287億kWh、最大電力504万kW）とほぼ同程度と見込んでおります。



2. 最大電力バランス

- 安定供給確保の目安となる8%以上の供給予備率を確保できる見通しです。



注) 四捨五入の関係で合計が合わないことがあります

※ 2018実績の8月最大電力504万kWは気温影響補正後